

栃木市フードバレー構想

とちぎ おいしいーところ フードバレー



栃 木 市

栃木市フードバレーとは

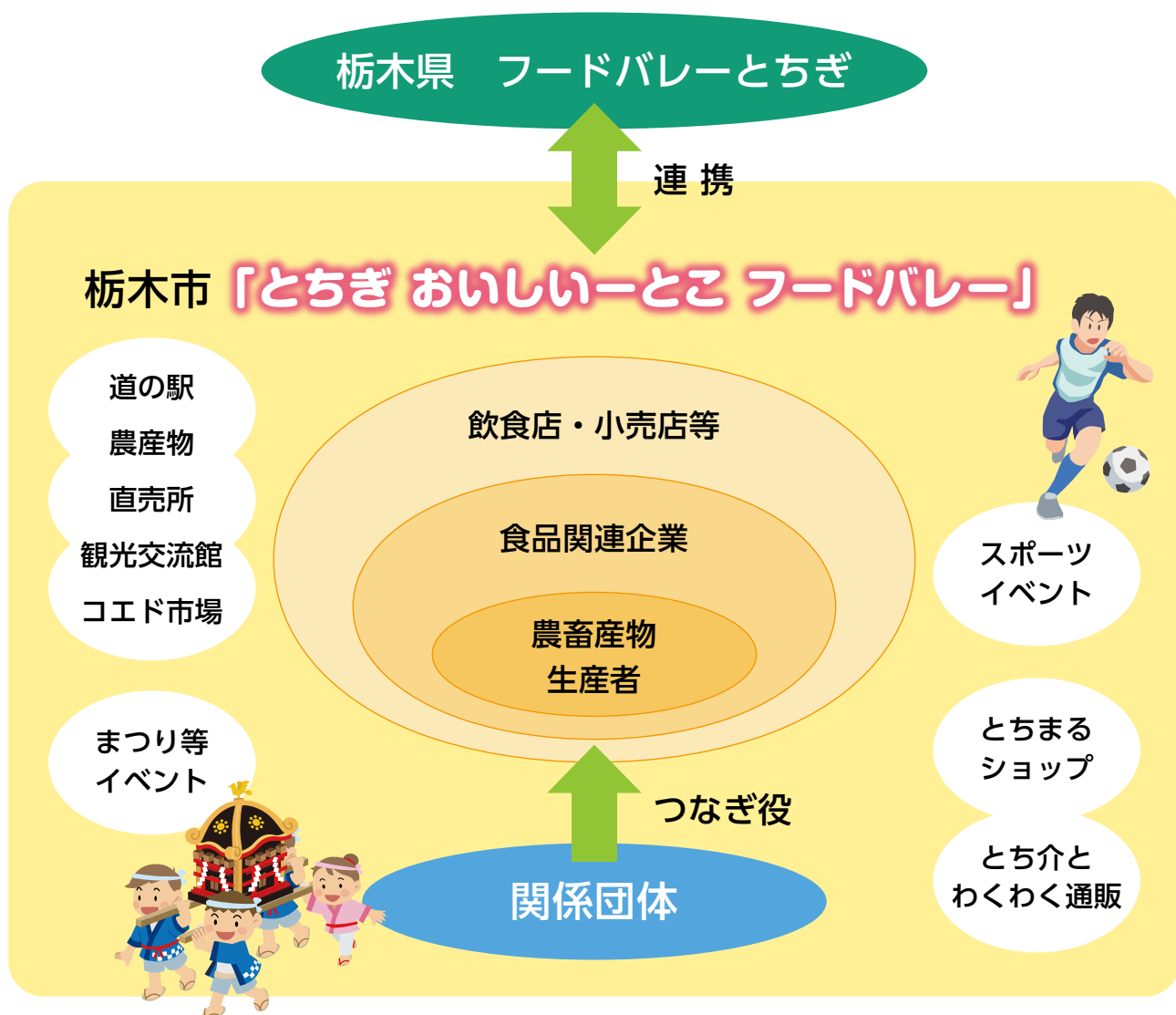


栃木県は、全国有数のものづくり県であるとともに、豊かな農畜産物や豊富で良質な水に恵まれ、首都圏の食料供給基地として発展してきました。

県では、本県のもつポテンシャルを最大限に活かし、“食”に関連する産業の振興を図ることにより、“食”をテーマに地域経済が成長・発展し、活力あふれる“フードバレーとちぎ”を目指し、ネットワーク形成、商品・技術開発、販路開拓、企業誘致等の取組を全県を挙げて推進しています。

その中でも栃木市は、恵まれた自然環境と首都圏に近接する地理的優位性を持ち、県内でも有数の豊富な農畜産物の産地であるとともに、多種多様な食品関連企業が数多く立地しています。

本市では、「栃木市中小企業・小規模企業振興ビジョン」並びに「栃木市農業ビジョン」に基づき、県“フードバレーとちぎ”構想の推進に向けた各種取組等と連携を図りながら、新しい商品の開発や販路開拓に取り組み、食品関連企業や農業をはじめとする食に関連する地場産業の振興を図ることにより、地域の活性化を目指し、栃木市フードバレー『とちぎ おいしいーとこ フードバレー』を推進します。



今あるものを活かし、新しいものをつくりだす。

栃木市フードバレー

「とちぎ おいしいーとこ フードバレー」

Eat -食- で とちぎ を盛り上げる6つの **Co.**

Connection (コネクション)

- ・関係団体が つなぎ役 となって食品関連企業と農畜産物生産者を引き合わせる。

Collaboration (コラボレーション)

- ・食品関連企業と農畜産物生産者が 協力して 新商品を開発



Combination (コンビネーション)

- ・食とスポーツイベントが消費者と 一体となった 取組
- ・食の連携による 商業 **Commerce (コマース)** や

地域 **Community (コミュニティ)** の活性化



Come! (カム)

- ・食のおもてなしによる 誘客

主な 農畜産物

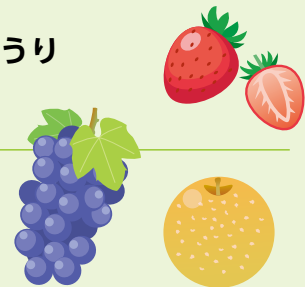
- ・二条大麦 (ビール麦) : 全国第1位 (R元) (市町村別産出額)
- ・いちご : 全国第6位 (R元) (市町村別産出額)
- ・トマト : 県内第1位
- ・ぶどう : 県内第1位
- ・米 : 県内第3位
- ・もやし : 栃木県全国第1位

オリジナル 野菜

甘ゆき物語 (ねぎ) 宮ねぎ 姫きゅうり
赤い恋人 (トマト)

くだもの

いちご : とちおとめ スカイベリー
ぶどう : 巨峰 シャインマスカット
梨 : にっこり



畜産物

とちぎ和牛 霧降高原牛
鶏卵 : つがのさくら つがのもみじ
 ふるさと玉子 かきぬまさんちのたまご



【市内の食品関連企業の立地イメージ】



主な食のおもてなし

『ご当地グルメ』

- ・観光客や市民に親しまれる「いづるそば」
- ・太平山三大名物「焼き鳥・玉子焼・だんご」
- ・栃木市が誇るローカルフード「じゃがいも入り栃木焼きそば」



『水資源』

- ・豊富で良質な 地下水

『農畜産物関連ブランド等』

- ・本市産の食材を使用した「とちぎ小江戸ブランド」
- ・本市ならではのもてなし料理「とちぎ江戸料理」



フードバレーを推進し、目指すもの

本市では、県内有数の生産量を誇る質の高い農畜産物が生産されており、食品関連産業においても伝統的な老舗食品企業から産業団地に進出している大型食品企業など、多種多彩な商品を製造する多くの食品関連企業が立地しています。

食品関連企業と本市が誇る農畜産物や豊富な地下水などの食資源を、連携・融合させ、企業と生産者のマッチングを図り、農畜産物を積極的に有効活用して新たな商品開発及び販路の開拓・拡大を推進し、「食」を柱とした地域経済の活性化を図る「とちぎ おいしいーとこ フードバレー」の実現を目指します。



関係団体

栃木県、栃木市、ＪＡ、商工会議所、各商工会、金融機関、
栃木市フードバレー協議会、ジェトロ栃木貿易情報センター など



事業方針

食品関連企業と農畜産物生産者とのマッチング

新しい商品の開発に向けた支援

販路開拓・販売拡大と輸出への取組

情報発信と新商品のＰＲ

食・スポーツ・教育に関する取組

食と観光に関する取組



主な取組と目指す方向性

行政や農業・商工団体、金融機関等が一体となって食品関連企業と農畜産物生産者の交流による異業種の連携を促進し、新商品の開発及び販路拡大等の活動を支援します。

また、食に関連する地場産業の振興、食とスポーツ・観光の融合である「栃木市食とスポーツによる地域活性化及び観光振興計画」の推進を図ります。

食品関連企業と農畜産物生産者とのマッチング

- 多様な食品関連企業や農畜産物生産者などの現状と意向を把握

アンケート、企業訪問の実施

- 企業と生産者の交流の場となる座談会、懇親会や工場見学会の開催支援

- 既存商品に地元産農畜産物を活用（置換え）

企業（商品開発のための材料提供依頼）⇒ 生産者

生産者（自信のある農畜産物）⇒ 企業



新しい商品の開発に向けた支援

- 栃木市の補助金等による支援

先端設備導入計画認定（農業用機械、栽培ハウス及び遮光スクリーンなど）

新製品開発補助（新製品の研究開発、新技術の開発）⇒農産加工品に拡大

産業財産権取得補助（特許権、実用新案権、商標権、意匠権）

- 栃木県「フードバレーとちぎ」と連携した体制を構築し、事業者を支援

栃木県「フードバレーとちぎ農商工ファンド活用助成事業」の有効活用

新商品等開発支援事業補助金

販路開拓支援事業補助金

- 新商品の開発のため、地元産農畜産物を活用

- 「蔵の街とちぎビジネスプランコンテスト」におけるスイーツ部門の開催

- 高校生等と連携し、地元産の農畜産物を活用した新商品開発への取組

販路開拓・販売拡大と輸出への取組

- 地球環境にやさしい、食品ロスやフードマイレージを減らす取組
- 付加価値の高い商品や農畜産物の販路開拓と拡大へ向けた支援
マケ協（栃木県農産物マーケット協議会）・ジェトロ栃木貿易情報センター
- 新たに整備する産業団地への市産農産物を活用する企業の誘致、雇用創出

情報発信と新商品のPR

- 情報発信PR等の支援
- ふるさと納税返礼品への登録
- 地域ブランド化の推進 「とちぎ小江戸ブランド」「とちぎ江戸料理」
- 栃木市の特産品紹介HP「とち介とわくわく通販」への掲載
- 「スイーツコンテスト」の開催



食・スポーツ・教育に関する取組

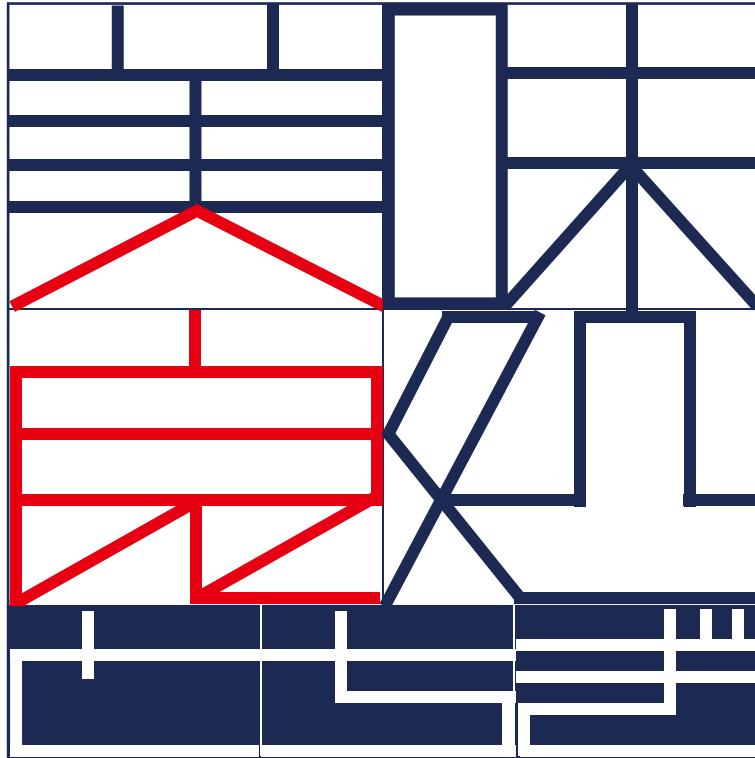
- 食とスポーツを活かし、スポーツイベントをはじめとする各種イベントでの新商品の提供・PRの実施
- 新商品販売の促進、販路開拓及びスポーツ振興との融合
- 児童生徒の職場体験や工場見学の実施
- スポーツへの関心向上と健康増進



食と観光に関する取組

- 観光客を「食・ご当地グルメ」でおもてなし
- 農業体験と地域特産品を活用したマルシェの開催
- 食に関連する地場産業の振興を図り、地域の活性化と観光振興の推進





栃木市フードバレー構想(令和3年12月)

栃木市 産業振興部	商工振興課	☎0282-21-2371
	観光振興課	☎0282-21-2373
	農業振興課	☎0282-21-2381
	産業基盤整備課	☎0282-21-2376

〒328-8686 栃木市万町9番25号
E-mail : syoukou@city.tochigi.lg.jp
